



班都整第 89 号
平成19年5月 8 日

国土交通省道路局長 様

奈良県斑鳩町長 小城 利重



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありました標記の件
について、別紙のとおり意見として回答いたしますので、今後の道路行政諸施
策の推進のための計画の参考といただきますよう、よろしくお願いいたします。

今後の道路政策や道路整備・管理についての意見

(1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

本町には、矢田丘陵や竜田川、大和川をはじめ、田園地帯、ため池などといった豊かな自然環境と法隆寺や中宮寺、法起寺、法輪寺をはじめとする社寺や歴史的な集落、史跡といった歴史的風土が町内各所にみられ、豊かな歴史と自然が織り成す風景・景観は、他の地域にない「斑鳩」独自のものであり、多くの人々に「斑鳩の里」として親しまれています。

本町としては、これらの観光資源を活用したまちづくりが不可欠であるが、観光客の移動にかかる定時性が欠如しており、観光客の誘致等の観光振興上も問題となっている。その為にも地域間の道路相互の連携強化が最も重要な課題となっている。

このため、本町を通過する広域的な主要幹線である国道、県道のボトルネックの早期解消をはかる政策が重要であることから、国道、県道の改良を積極的に進める一方でこれら広域的な主要幹線の機能を補完するバイパス路線の整備及び都市計画道路網の整備促進による道路交通体系の連携強化とそれぞれの道路の目的に応じた役割分担を果たせるような機能強化を優先的に図る必要がある。

(2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ① 地域振興や地域間交流の支援、広域観光ルートの形成などといった「どこへ行くにも定時性を確保できるみちづくり」を重視した効率的な道路行政が急務である。
- ② 交通安全の確保、すれ違い不可能箇所解消、災害への対応強化、ゆとりある歩行者の支援など、「安全、安心、快適で魅力あるみちづくり」を重視した効率的な道路政策が必要である。

(3) その他、道路政策や道路整備に関する意見。

- 地域の幹線道路の整備促進を中心に速やかに道路網のネットワークを形成し、それぞれの目的に応じた交通の流れを確保し、渋滞を緩和、地域の産業、観光の振興等の経済的な波及効果を期待する。
- 渋滞が緩和による車の排気ガスから排出されるCO₂など大気汚染の削減等により、深刻化する環境問題にも対処することを期待する。

- 昨今、特に懸念されている大規模な地震発生等を想定し、災害時には緊急輸送路として、また防災空間として避難路や防火帯になるなど防災面での道路整備の役割強化を期待する。
- このように道路は豊かな生活や活力ある経済・社会活動を支える基礎的な施設であることから、道路の果たす役割を最大限に発揮できるよう道路整備に必要な財源確保が望まれる。
- 西名阪自動車道の料金体系を安価に見直し、市街地を抜ける国道25号等の渋滞緩和による定時性の確保を期待する。
- 現有道路の維持管理に要する経費は地方財政においても、多大な費用負担となっており、今後、これらに必要な財源の確保が求められる。